

議会だより



りゅうおう

No. 170

2015年2月1日

滋賀県竜王町議会



竜王に消防出張所 2
どうする？道路行政 6
あなたの声を町政に 9
子ども議会開催 16

12月
定例会

こどもひろば「すくすく」

定例会

近江うし丸



平成26年第4回定例会は、12月4日から19日までの16日間で開かれました。

今定例会では、専決処分を含む条例5件、補正予算7件と、町道路線関係3件、土地取得2件、請願1件、意見書1件、その他1件の20件が提案され、すべて承認・可決・採択されました。

竜王消防出張所用地など2件の取得決定

A (仮称) 竜王消防出張所及び竜王町地域防災拠点施設整備事業用地

竜王町大字山之上地先 6,643㎡

取得予定価格 46,501,000円

問 用地単価について当初予算の時よりは下がって7,000円になった。それでも田んぼとしては高いのではないか。

答 竜王町の土地事情に詳しい鑑定士に依頼し、土地利用の用途、周辺の接続道路等を勘案した妥当な、責任の持てる価格です。



竜王消防出張所用地

B 竜王 I C 周辺地区道路整備（町道谷川線）事業用地

竜王町大字岡屋地先 11,136.56㎡

取得予定価格 55,845,916円

問 用地の地目によって価格が違うと思うが取得価格はどうなのか。

答 町道谷川線の単価については、原野・山林は5,200円、ため池は4,420円、保安林は市街化区域が4,160円、市街化調整区域が3,740円です。

町道認定など

- 路線の認定

林竜王中学校線
(大字林字十ノ坪～大字薬師)

- 路線の廃止

鵜川^{こい}洪井線
(大字鵜川2376～大字薬師2251)

- 路線の変更

巡検線 (路線の延長)
竜王中学校線 (一部ルートの変更)



林竜王中学校線

条例改正

- 竜王町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 (6ページ参照)
- 竜王町手数料徴収条例の一部を改正する条例
- 竜王町ふれあい相談発達支援センター設置条例の一部を改正する条例
- 竜王町国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 竜王町消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例

ふれあい相談発達支援センター (プレイルーム)

問

国民健康保険条例は、どのように改正されるのか。

答

健康保険法施行令の改正に伴い、
出産育児一時金を現行の39万円から40万4千円に改正するものです。



一般会計補正予算（第6号）の概要

（単位：千円）

一般会計	当初予算	既決予算総額	今回の補正予算額	予算総額
	6,125,000	6,499,714	△43,225	6,456,489

歳入

障害者自立支援給付費負担金	7,500
介護基盤緊急整備補助金	8,900
戸別所得補償経営安定推進事業補助金	7,750
財政調整基金繰入金	22,900
前年度繰越金	22,040
竜王インター周辺地区整備協力金	△125,100

歳出

電子通信機器等借上料	20,605
地域おこし協力隊事業	802
自立支援給付費	15,000
竜王IC周辺地区多機能グラウンド整備工事	△131,500
農地集積協力助成金	5,150
法人化支援事業補助金	2,600
人件費補正	9,547

問 戸別所得補償経営安定推進事業補助金はどのように使われるのか。

答 農地集積協力助成金5,150千円と法人化支援事業補助金2,600千円に充てられています。

問 地域おこし協力隊事業とはなにか。

答 地域の活性化に意欲のある都市住民を受け入れ、地域活動を通して定住・定着を図るものです。平成27年度から3年間の事業で、2名募集します。



新たな電算室

竜王町特別会計・企業会計補正予算の概要

（単位：千円）

会計名	当初予算	既決予算総額	今回の補正予算額	予算総額
国民健康保険事業 （事業勘定）	1,187,700	1,188,429	18,435	1,206,864
	療養給付費等負担金精算返還金14,894千円の増額など			
国民健康保険事業 （施設勘定・歯科）	51,100	52,449	407	52,856
	人件費の増額			
学校給食事業	60,900	60,900	316	61,216
	資材費326千円の増額、消費税納付金10千円の減額			
介護保険	839,600	840,512	20,920	861,432
	施設介護サービス給付費18,400千円の増額など			
水道事業	381,323	385,123	615	385,738
	人件費の増額			

「米価下落対策」を求める請願書を受け、意見書を提出

・請願

「米価下落等に関する意見書の提出を求める請願」がグリーン近江農業協同組合・滋賀県農政連盟東近江連合支部・滋賀県農政連盟竜王支部から提出され、12月9日の本会議にて上程、採択されました。

・意見書

上記請願に対し、竜王町議会から国宛の「米価下落等に関する意見書」を提出することを決定しました。

1. 過剰米対策や米の需要拡大に向けた消費拡大対策
2. 飼料用米の生産拡大に向けて必要な水田活用に伴う予算確保と流通供給体制の整備
3. 平成26年産米の収入減少に対して、実態に即した交付金の早期支払いと国の補てん
4. 資金繰りに影響のある農業者に対しての緊急融資等



26年産米 集荷倉庫

臨時会

平成26年 第4回臨時会

10/27

10月27日に第4回臨時会が開かれ、一般会計補正予算（第4号）、工事請負契約の締結1件が全員賛成で可決されました。

補正予算

既決予算総額64億7,629万8千円に1,451万6千円を追加し、予算総額を64億9,081万4千円とするもの。

歳出の主なものは、

子育て世帯臨時特例給付金	1,740千円
地域防災拠点施設整備工事 設計業務委託料	2,570千円
全国青年大会選手派遣事業	206千円
人件費補正	10,000千円



こどもひろば「すくすく」

工事請負契約の締結

総合庁舎別館火害復旧等改修工事

契約金額 70,092,000円 契約の相手方 株式会社ヤマタケ創建

常任委員会の活動

総務産業建設常任委員会

調査

道の駅取付道路 (町道山面鏡西線) 11/25



道の駅 南側景観

平成12年度に計画したが…？

問

町道松陽台安養寺線が完了したら、町道山面鏡西線に取り組むとしていたが、いまだ実施できないのか。

答

課題をクリアし、早く取り組める方策を探りたいと考えています。

問

国道8号出入り口に信号機を設置しないのか。

答

敷地への出入りのためには設置できないとの公安委員会の考え方です。

調査

松が丘北側道路 11/25

問

町道小口八重谷線のバイパス的要素を持つ松が丘北側道路の計画がマスタープランにのったのはいつか。

答

この道路計画は、平成9年の策定当初から挙がっていますが、公図混乱地域であることなど多くの課題があります。

意見 2件の道路計画があるものの、課題解決が遅延していて進捗していない。住民の利便性の確保から、今出来ることから早急に対応されたい。

調査

獣害について 12/10

問

侵入防止柵は集落地も設置できないか。

答

国の交付金を活用している関係から農用地のみの設置となっています。今後、県へ要望します。

審査

竜王町職員の 給与に関する 条例の一部を 改正する条例 12/10

問

今回の条例改正による引き上げ幅は。

答

平均で0.44パーセントです。



審査

平成26年度竜王町一般会計補正予算 (第6号) 12/10

問

農地集積協力助成金26件、法人化支援事業補助金6件の内訳は。

答

農地集積協力助成金については、庄19件、鏡1件、岡屋2件、信濃1件、山中1件、七里1件、西川1件の計26件です。法人化支援事業補助金については、山中、小口、西川、西横関、須恵、東出の各生産組合等です。

問

空き家清掃業務委託料は、地域おこし協力隊2名の居所のためのものか。また、場所は決まっているのか。

答

2名分のものです。場所については現在検討中です。



小口宮農倉庫

教育民生常任委員会



地域包括ケア体制(システム)構築の必要性 12/11

福祉のまちをめざして！

概要 団塊の世代が75才以上となる2025年を見据え、高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的で、可能な限り住み慣れた地域で生活することができるような、包括的な支援・サービス提供体制の構築が必要である。

問 今後の人口推移の見通しが第五次総合計画の目標人口を大きく下まわっているが。

答 現状のままの人口推移の見込みであって、今後、高齢者がいきいきと長寿の人生を送っていただくためのいろいろな施策を講じることによって、健康寿命を延ばし、人口減の歯止め的一端を担い、ひいては若い人にも魅力あるまちづくりにつなげていきます。



小規模多機能型居宅介護施設（鏡地先）



平成26年度竜王町介護保険特別会計補正予算(第2号) 12/11

問 入所して一定期間を過ぎると他の施設に移られることが多いが、実態を把握できているのか。

答 在宅生活への復帰を目指す介護老人保健施設では、一定期間ごとに在宅復帰の検討をします。必要な場合は他の施設に転所し、リハビリを継続されます。その実態は保険給付から把握できます。

問 利用している県内の介護老人保健施設は幾つか。

答 平成26年に開設された野洲の野洲すみれ苑、近江八幡のエスペラル近江八幡を含めて平成26年9月末現在で12施設。



介護老人保健施設
エスペラル近江八幡
(小船木町)



特別委員会の活動

地域活性化特別委員会



滋賀竜王工業団地の進捗状況 12/15

概要 県土地開発公社および竜王町事業は、ほぼ予定通り進捗している。企業募集は11月6日から実施し、東京・福岡・大阪で県・公社・竜王町が協力してセミナー等を開催した。今後、平成27年1月30日までを分譲予約受付期間とし、公社に設置された審査会で事業予定者を決定、3月には予約契約締結といった販売(予定)スケジュールである。



工事現場視察の様子

問 企業誘致活動について、セミナー等3会場の様子はどのようなものだったか。

答 製造系企業の他、建設業や金融機関・コンサル会社も参加されており、誘致活動により仲介・宣伝効果が期待できるものと考えています。

問 工業団地整備が進む一方で、名神竜王インター機能強化対策、住宅対策は進んでいるのか。

答 インター機能強化は引き続き関係機関に要望して行きます。住宅対策は町総合計画に掲げる人口14,000人に向けて全力で対応します。

問 山之上住宅地計画は、今年度中に進めると表明されたが、可能なのか。

答 複数社による開発ができるよう具体的なプランを研究し、努力しています。

議会基本条例推進特別委員会



「子ども議会」の取り組み 11/19 12/15

次代を担う子どもたちが、議会の仕組みを理解するとともに、竜王町の現状や将来について考え、意見を発表し質問する機会を通して、まちづくりへの関心、参画していこうとする意識の醸成を図る。

また子ども議会に関わる子どもたちの保護者など、より多くの方々に議会を身近に捉えてもらい、議会の活性化につなげるため「子ども議会」を開催する。

事前の学習会や研修会など、子どもたちと議員が関わりを持つことで、議会が身近なものになるよう計画を進めていく。

開催日時 平成27年3月21日(土) 午後1時
場 所 竜王町総合庁舎 3階 議場

12月定例会で9人が一般質問を行いました。



あなたの声を町政に

質問席

ページ	質問事項	質問議員
9	1. 子育てと若者定住支援を全ての施策に	若井 敏子
10	1. ふるさと納税について 2. 地方創生関連2法案について 3. 高齢者の医療費助成の拡充について	竹山 兵司
11	1. 米価下落が今後の町農業に与える影響と対策について 1. 介護保険事業を取り巻く背景について	松浦 博 貴多 正幸
12	1. 遺跡公園のまちと観光・国際交流について 2. 介護予防の推進について 3. 地域再生法の一部改正とまちづくりについて	内山 英作
13	1. 米価下落に対応する町の取り組みについて 2. シティプロモーション戦略の取り組みについて	山田 義明
14	1. 町道山面鏡西線の進捗状況は 1. 学童通学安全確保のための歩道拡幅について	岡山 富男 古株 克彦
15	1. 総合庁舎別館火災の責任所在について	菱田 三男

問 色んな全国の施策、第五次町総合計画の到達状況、子育て支援と若者定住について伺う。

問 子育てと若者定住支援

答 取り組みの強化を図る



若井 敏子 議員

答 長野県下條村、静岡県裾野市など全国で先進的な取り組みがある。県内では高島市で、若者定住促進条例を制定し取り組んでいる。他に全国的に色々な取り組みがされており、町として、総合計画に基づいて取り組みを強化していく。住民を巻き込んだ研究会のご提案についてはご意見として承りました。



竜王町自治会連絡協議会の研修会（11月28日）

問 ふるさと納税の活用は

答 福祉・教育分野などに活用



リフトシート付き軽自動車

問 竜王町でのふるさと納税の取り組みと実績は。



竹山 兵司 議員

答 平成20～25年度の寄附実績は225万5000円。

活用方法は、竜王町未来につながるさと交竜寄附条例に基づき福祉など6分野に申込者の意思を踏まえて、実際の事業に充てている。

具体的には、リフトシート付き軽自動車購入費用の一部補助、各小学校教育に使用するプロジェクト―取付型の黒板ユニットの設置などがある。

問 地方創生関連2法案

答 第五次竜王町総合計画の強力な後押し

問 地方創生関連2法案が可決されたが、我が町の取り組み、対応は。

第五次竜王町総合計画で、平成28年度からの後期計画の樹立と重ね合わせて取り組む。

答 人口減少、少子高齢化の課題に向かって地方創生はラストチャンスと考えている。
制度、施策を活用しつつ「ひと育ち みんなで煌く 交竜の郷」の実現に向け努めていく。



観光振興が期待されるいちご園

問 高齢者の医療費助成は

答 福祉医療費助成制度により軽減



高齢者の介護予防対策研修会

問 高齢者の医療費助成の内容について伺う。

答 本人、配偶者、扶養義務者が住民税非課税の場合、福祉医療費助成制度における低所得老人の区分に該当するため、医

療費の自己負担を65歳から69歳の方は2割負担とし、70歳から74歳の方は1割負担としている。
また、平成25年度の低所得老人の対象者は60人で本町の負担額は490万203円である。

問 米価下落が今後の町農業に与える影響と対策は？

答 再生産可能な仕組みづくりに知恵と汗を出す



松浦 博 議員

問 今年度産米価格が記録的な安値となり、農業者、特に担い手農家や農業法人には厳しい経営状態となっている。本町の基本施策である「収益性の高い魅力ある農業」をどのように実行するのかわう。

答 大規模農家でも採算が取れない厳しい状況であると理解している。経営改善に向けた相談や指導は東近江地域農業センターが行っている。

経営所得安定対策は今年度から直接支払いが半減しているが町からの補助は難しい。

また、農地利用の集積集約化には問題なく、今後も同様



大型コンバインによる収穫作業

に行う。国の施策を活用しながら竜王町らしさを引き出せるよう関係機関と協議していく。

問 米価下落による農業経営の厳しさを把握した上で、担当課は専門的で深い議論ができるものと期待していた。町の姿勢を農家に説明できない。

答 農業者の意見を集約し対応する。町は原点に立ち、再生産可能な仕組みづくりに知恵と汗を出す。



貴多 正幸 議員

問 介護保険事業を取り巻く背景については

答 月当たりの給付費、在宅サービス利用者数は増加傾向

問 平成27年度からの介護保険事業における第1号被保険者の保険料基準額が、月額6,060円の見込みであると聞いた。現在の保険料基準額から約1.5倍の増額となるが、どのように考えているのか。

答 滋賀県同様、竜王町においても人口減少、平均年齢が高くなることが想定されるが、介護保険

料を決定するには、県内市町の状況など詳しく調査し、根拠のあるところを伝えないと到底理解が得られるものではない。過去3年間、3,920円での特別会計の収支状況がどうであったのか、1.5倍に引き上げることが不可欠ならば丁寧にして何回も繰り返し住民の皆様に説明していかねばならない。



健康体操による介護予防

問 遺跡公園のまちと 観光・国際交流

答 今のところ新たな交流先
は考えていない

問 竜王町には遺跡の数が140あまり存在し、町内を埋め尽くしている。この遺跡を今まで以上に



内山 英作 議員



雪野山古墳
(発掘調査時石室内部)

外国人がアウトレットなどの施設に来場されることが交流以上の交流になっている。

答 案内標識の設置や散策マップ、リーフレットの作成、それらを活用した歴史探訪・散策の実施。また、観光につながる施策として、「野洲・竜王でえもん食べようてくてくラリー」などを実施。

最後に、中国湖南省のある町など国際姉妹都市提携について伺う。

PRし、「遺跡公園のまち」として町外に情報発信してはどうか。
次に、この遺跡を生かした観光施策について伺う。

問 介護予防の推進

答 小地域福祉活動は
サービスの均質化が課題

問 過去一、二年間で介護度の軽い要支援、要介護1、2であった方の介護度が軽減した人数、逆に介護度が上がった人数は何人か。

介護サービスの利用に

よって介護度が軽減し、介護給付費が削減されることは介護予防の効果であるが、竜王町では介護

予防推進の効果は、何を指標とし、また、小地域福祉活動は介護予防の推進にとって実施可能か。

答 ある期間での419件のケースで、32件のケースで介護度が軽くな



脳活性化ゲームをする参加者

り、一方、2022件のケースでは重くなった。竜王町では介護予防の一つの目安・指標として65歳以上の高齢者人口に占める新規認定率で評価している。

また、新しい介護予防・日常生活支援総合事業の中で小地域福祉活動なども考えていく。

問 地方再生法の一部改正とまちづくり

答 国への提案に向けた取り組みを進める

問 地方再生の理念を定めた「まち・ひと・しごと創生法」と活性化に取り組む自治体を国が一体的に支援する「地方再生の一部を改正する法律」

が成立した。竜王町での施策について伺う。

答 「産業集積推進計画」を内容とする地域再生計画を滋賀県と共同で策定し、現在、滋賀竜王工業団地の整備を精力的に取り組んでいる。

今後示される支援策などが町の課題解決にとつてどの程度有効かなど、国の動向を注視しつつ、研究していく。



造成が進む滋賀竜王工業団地



山田 義明 議員

問 米価下落に対する町の取り組みは

答 関係機関と協議していく

問 特定された竜王産米のビジネスサポート事業への支援策はないのか。
竜王町産米の付加価値を上げられる土産土法の取り組みはできないのか。

答 長期的な視野に立ち竜王町水田活用の取り組みの予定はないか。

答 農作物に付加価値をつける酒米については検討する。その他についても、国の施策を活用しながら竜王町らしさを引き

出せるような施策を関係機関と協議を進める。たとえば、飼料用米などの非主食用米への支援など、国の政策の動向を注視しつつ、今後の町の方向性について判断する必要がある。



酒米部会のメンバー

問 シティプロモーション戦略の取り組み

答 町民や若者から「選ばれる自治体」を目指す

問 他の市町に比べ町が有する地域資源や優位性を発掘、発信するためにシティプロモーション戦略の取り組みは行わないのか。

答 戦略を持った自治体の営業活動は有用で有意義である。最近の町の取り組みは「竜王」の名を入れるなど認知度の向上に努めているが、若者の流失を抑えることは大きな課題だ。多世代にわ

たって町への愛着心や誇りを持っていただけるよう情報発信や施策が必要であると認識している。まずは、町民・町の若者から選ばれる自治体となるよう魅力の発信を行う。

シティプロモーションとは

地域資源や優位性を発掘・編集し価値を高め、町内外に効果的にアピールすることにより、ヒト・モノ・カネ・情報と呼び込み地域経済の活性化を図る一連の活動です。



近江うし丸

認知度の
向上
(自治体の知名度
を高める)

交流人口の
増加

シビック・
プライドの形成
(既存住民に愛着心を
もたせ転出ストップ)

情報交流
人口の拡大

定住人口の
獲得

企業誘致

問 町道山面鏡西線の進捗状況は

答 法線の検討が必要

問 道の駅がオープンしてから年月が経過しているが、町道山面鏡西線について、松陽台安養寺線が完了した後に取り組むと聞いたが、進捗状況はどうか。



岡山 富男 議員



生産農家の販入路

答 平成20年頃までに当路線周辺地域の現地と公図が合わない箇所や公図訂正のための立会いや登記手続を実施してきたが、境界を確定するまでに至っていない。今後、周辺の状況の変化と課題等を踏まえて道の駅「竜王かがみの里」の発展と必要な道路規模や法線の検討が必要である。



古株 克彦 議員

問 学童通学歩道の拡幅を

答 アクションプランに位置付けされるよう努力

問 県道春日竜王線の薬師・小口間の歩道幅員が80センチメートルと非常に狭く学童の通学時間帯と通勤車の通勤時間帯

(7時台の通行車両は約500台)と重なり非常に危険である。

町当局の取組は。

答 平成24年度におうみ通学路交通アドバイザー制度が立ち上げられ、平成25・26年度には竜王町内小中学校通学路合同点検において、現地確認を行い、通学路における交通安全確保が求められる区間である事が確認されている。今後も引き続き県に対して、歩道構造の改善に早期に取り組んで頂くよう働き続けると同時に、県のアクションプランに位置付けされるよう努力していく。

アクションプランになると、県に対しての要望項目のうち、具体的な行動計画として位置付けられます。



近江うし丸



薬師 通学路



菱田 三男 議員

問 総合庁舎別館火災 の責任所在は

答 皆様に対して
謝罪を申し上げる

問 平成26年1月に発生した庁舎別館火災についてこれまでその出火原因、経過等の説明を受けたが、その後の結果や責任所在の報告がされていない。

当件は約2億円の損失が発生した大きな事案であり、町長以下担当職員の責任もあると思うが、町民への説明責任すら果たしていない状況である。今後どのような対応を考えているのか伺う。

答 町の財産をお預かりしている立場として、この火災が発生したことは

痛恨の極みであり、この火災のために大きな被害・損害を出し、概算で約1億2千万円もの町のお金を使うこととなり、皆様に対し、謝罪を申し上げたいところである。町の責任にかかる今後の対応として、私町長をはじめ関係職員についてはその職責等に応じ、それぞれ処分させていただく



改修工事中の庁舎別館

時事往来

議長の足跡から

昨年、11月6日に天皇皇后両陛下ご主催の秋の園遊会が東京の赤坂御苑で催され、招待を受けて列席させていただく栄誉に浴しました。

また、11月12日に東京のNHKホールで町村議会議長全国大会が開催され、小森副議長と共に参加しました。その後、大臣室に有村治子女性活躍・行政改革特命担当大臣を訪ね、懇談する機会を得ました。

翌13日には、大臣室に石破茂地方創生担当大臣を訪ね懇談する機会を得ました。

そして、12月22日滋賀県町村議会議長会の理事会が開催され、会長に就任しました。



石破大臣との懇談



議長 蔵口 嘉寿男

シリーズ いきいき人生

山面在住 長江 美津子 さん

私とウォーキング

私は主人を亡くし、無我夢中で子育てを頑張りました。お陰で子ども達も成人をし、何か趣味をと思っていました。平成11年4月、突然ある方が、ウォーキングに誘って下さいました。

く時間を大切にしています。日々のウォーキングは少しの時間を大切に歩き続けています。そして、歩こう会や、他にはツアー等のウォーキングにも参加したりして幅広く活動していきます。これからも健康に気をつけて歩き続けたいと願っています。

最初に言った所は、伊吹山近くの三島池と徳源院でした。桜咲くすばらしい景色に感動し、さっそく竜王歩こう会に入会する事を決めました。その後約16年間で、たくさんのコースを歩きました。県内はもちろん県外まで足を延ばし、神社や博物館等見学したり、お寺へもおまいりしたりしました。素晴らしい風景に見とれ、心がなごみました。そして、人々とのふれ合いも大変うれし



京都府立植物園にて



議場

「竜王町たつの子議会」開催のご案内

開催日時 平成27年3月21日(土) 午後1時
場所 竜王町総合庁舎 3階 議場

子どもと議員が一緒になって、まちの未来を考える機会になればいいな



近江うし丸

編集後記



議会広報編集風景

町村議会広報研修会に広報委員4名が参加しました。

「伝わる広報」づくりのための文章の書き方や紙面デザインの基礎知識、写真の活かし方を学び、クリニックでは、当町の議会だより168号についても直接に具体的な指導を受け、大変参考となりました。

今後、町民の皆さん

にわかりやすく読んでいただけるように改善できるところから取り組んでいきたいと考えております。ぜひ、紙面を開けてみてください。

議会広報特別委員会
委員長 松浦 博
副委員長 内山 英作
委員 竹山 兵司
岡山 富男
古株 克彦